

国土交通省などへ

東北国道協議会の 意見交換会と要望活動を実施しました。



令和3年11月18日

郡山市建設交通部

道路建設課

担当：吉成 義幸

ターゲット 11.2 TEL：924-2291

SDGs ターゲット 11.2 「全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能なアクセスを提供する」

郡山市長が会長を務める東北国道協議会の意見交換会と要望活動を実施しました。

○意見交換会

- 1 日時 11月16日(火) 午前10時
- 2 場所 東京都千代田区丸の内2-7-2 (JPタワー ホール&カナルス 4階)
- 3 出席者 国土交通省 道路局長 村山 一弥 様 外3名
東北国道協議会 会長 品川 萬里 郡山市長 外9名
東北各地区国道協議会 代表者 (別添名簿のとおり)

4 意見交換会の様子



意見交換会の様子

<意見交換会の概要>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底しながら執り行いました。
- ・意見交換会の中で東北地区の道路整備に関する要望を国土交通省 村山 道路局長へ実施しました。



○要望活動

- 1 日 時 11月16日(火) 13:15～
- 2 場 所 根本匠衆議院事務所及び各省庁
- 3 面会者 衆議院議員 根本 匠 様 (衆議院予算委員会 委員長)
復興副大臣 富樫 博之 様
国土交通省 技監 吉岡 幹夫 様
- 4 要望活動の様子



郡山市長から根本匠議員（中央）へ要望書を提出



郡山市長から国土交通省 吉岡技監（左）へ
要望書を提出



郡山市長から富樫復興副大臣（右）へ要望書を提出

<要望活動の概要>

新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底しながら、以下のとおり執り行いました。

- ・中央省庁への要望活動（国土交通省、財務省、復興庁）は、東北国道協議会会長（郡山市長）と事務局のみで人数を制限して実施しました。
- ・東北地区選出の国会議員への要望は、各地区国道協議会で実施しました。

令和3年度 東北国道協議会 団体概要

東北国道協議会																																																											
設 立	平成2年12月設立																																																										
目 的	東北地方整備局管内の一般国道の整備の促進及びその適切な維持管理を支援し、もって地域の発展を図ることを目的とする。 (東北国道協議会規約第2条)																																																										
会 員 R3年度 時点	<p>東北国道協議会</p> <p>① 組 織：東北6県に10の地区国道協議会</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 10%;">役</th> <th style="width: 45%;">地区名</th> <th style="width: 10%;">自治体数</th> <th style="width: 30%;">地区会長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> <td>青森地区国道協議会</td> <td style="text-align: center;">39</td> <td>青森市長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">副会長</td> <td>岩手地区国道協議会</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td>盛岡市長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td></td> <td>三陸地区国道協議会</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td>宮古市長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">副会長</td> <td>宮城国道協議会</td> <td style="text-align: center;">33</td> <td>大崎市長 仙台市長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td></td> <td>秋田国道協議会</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td>秋田市長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td></td> <td>山形地区国道協議会</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td>山形市長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td></td> <td>山形県庄内地区道路協議会</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>酒田市長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td></td> <td>福島地区国道協議会</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td>福島市長</td> </tr> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">会 長</td> <td>福島県中・県南・会津地区国道協議会</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td>郡山市長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10</td> <td></td> <td>福島県浜通り地区国道協議会</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td>いわき市長</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">合計 225 市町村</p> <p>※会長市は、各年持回りで地区国道協議会の会長が務めている。(令和3年は郡山市)</p>					役	地区名	自治体数	地区会長	1		青森地区国道協議会	39	青森市長	2	副会長	岩手地区国道協議会	20	盛岡市長	3		三陸地区国道協議会	14	宮古市長	4	副会長	宮城国道協議会	33	大崎市長 仙台市長	5		秋田国道協議会	25	秋田市長	6		山形地区国道協議会	30	山形市長	7		山形県庄内地区道路協議会	5	酒田市長	8		福島地区国道協議会	8	福島市長	9	会 長	福島県中・県南・会津地区国道協議会	38	郡山市長	10		福島県浜通り地区国道協議会	13	いわき市長
	役	地区名	自治体数	地区会長																																																							
1		青森地区国道協議会	39	青森市長																																																							
2	副会長	岩手地区国道協議会	20	盛岡市長																																																							
3		三陸地区国道協議会	14	宮古市長																																																							
4	副会長	宮城国道協議会	33	大崎市長 仙台市長																																																							
5		秋田国道協議会	25	秋田市長																																																							
6		山形地区国道協議会	30	山形市長																																																							
7		山形県庄内地区道路協議会	5	酒田市長																																																							
8		福島地区国道協議会	8	福島市長																																																							
9	会 長	福島県中・県南・会津地区国道協議会	38	郡山市長																																																							
10		福島県浜通り地区国道協議会	13	いわき市長																																																							
要望内容	<p>令和3年度 秋季要望の大項目</p> <p>東北国道協議会 決議</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 復旧・復興事業進捗のための復興関連予算の継続的確保 2 公共事業関係費の年間予算の大幅な増額、及び継続して安定的・持続的な予算の確保 3 地方経済の好循環等、平常時・災害時を問わない道路ネットワークの整備推進 4 道路ストックの老朽化対策と国土強靱化を実現するための防災・減災対策の充実 5 地域の人々の命や暮らしを守り活性化を図る施策の推進や道路予算の確保 																																																										

要望書



東北国道協議会

会長 郡山市長 品川 萬里



決議

東北地方は、雄大な自然と豊穡な大地に恵まれて、我が国の食料供給に大きく貢献しているとともに、地域固有の歴史や風土に育まれた伝統文化や風光明媚な景勝地は、観光客を始め、多くの人々に潤いと安らぎを与えている。

その一方で、南北に連なる奥羽山脈等の急峻な山々や面積の八割を占める豪雪地帯など、東北地方を取り巻く自然環境が社会経済活動の基盤である道路交通に影響を与え、地域間交流を妨げる要因になっている。

2011年（平成23年）の東日本大震災では、被災地からの避難や緊急支援物資の輸送及び災害復旧活動において、いち早く復旧した高規格道路や幹線道路等が、まさに「命の道」としての役割を果たした。同時に、道路はつながってこそ真価が発揮されるものであることを強く認識させられた。この「東日本大震災からの復旧・復興」における教訓をもとに近年増加する局地的豪雨等の気象災害や切迫する巨大地震に備えるため、「老朽化対策」、「防災・減災対策」、「国土強靱化」の推進が喫緊の課題である。これらの事業の必要性については、現行のB/Cによる評価ではなく、多様な視点からの必要性の評価を行うべきと考える。

また、東北地方は、自動車交通に大きく依存している地域でありながら、東北地方全体の高速交通ネットワークはもとより、生活レベルの地域の交通ネットワークも形成途上にある。高速交通ネットワークの整備による「救命格差の解消」や「都市と観光地等を短時間で結ぶ広域観光周遊ルートの形成」を求める声とともに、「市街地における慢性的な交通渋滞の解消」等、地域内の道路整備に対する声も切実である。

全国平均を上回る人口減少と高齢化に直面する東北地方が、ポストコロナ時代の「新たな日常」における競争力を向上させ、地方創生を実現し、安全・安心で豊かな生活を営むことができる地域となるためには、コロナ禍で大きく変化した社会情勢に順応することが重要である。

サプライチェーン強靱化のため調達先の多重化、海外工場の国内回帰による新たな工場の進出、テレワークの拡大を機に首都圏から生活の拠点を移す移住者の移転需要、本社機能の一部を地方移転させる企業など、国土利用の分散利用への需要を東北地方全体として獲得していくため高規格幹線道路、地域高規格道路、一般国道等による広域的な幹線道路ネットワークの着実かつ早期の整備は必要不可欠である。

以上のことから、今後の道路政策の運営にあたり、次の事項について強く要望する。

一 復旧・復興事業推進のための復興関連予算の継続的確保

・東日本大震災の被災地における復興事業が完了するまでの間、震災復興特別交付税による財政支援を継続し、安定的かつ十分な復興関連予算の確保を図ること。

二 公共事業関係費の年間予算の大幅な増額、及び継続して安定的・持続的な予算の確保

・防災・減災対策、国土強靱化対策を確実に実施するため、毎年度の当初予算の段階から公共事業関係費を大幅に増額すること。
・国の公共事業関係費を、平成二十一年度以前の七〜八兆円規模にまで回復させること。

三 地方経済の好循環等、平常時・災害時を問わない道路ネットワークの整備推進

・災害時における交通円滑化に資するため、高規格道路のミッシングリンク解消及び四車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化を図ること。
・東北地方新広域道路交通計画に位置付けられた道路から「重要物流道路」の追加指定を行い、機能強化や重点整備・支援すること。
・スマートインターチェンジやインターチェンジアクセス道路の整備により、広域観光周遊ルートを形成し地域振興を支援すること。
・急騰する宅配需要や物流需要に因應するため、大雪時の効率的・効果的な道路交通確保に取り組むこと。
・事業の必要性については、B/Cの算定方法を見直し、効果に多様な視点からの評価を加える検討を行うこと。

四 道路ストックの老朽化対策と国土強靱化を実現するための防災・減災対策の充実

・国土強靱化の事業計画に基づく道路の橋梁、トンネル等の老朽化対策を推進すること。
・「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」について、必要な予算・財源の別枠での確保と計画的な事業執行を図ること。
・デジタル技術の活用により、道路維持管理や道路利用者等の道路空間に係わる行政手続きなど道路行政全体の省力化、効率化を推進すること。
・頻発する大規模災害時の脅威・危機に即応するための地方整備局等の体制の充実・強化や災害対応に必要な資機材の更なる確保を図ること。

五 地域の人々の命や暮らしを守り活性化を図る施策の推進や道路予算の確保

・地震時の物資輸送など円滑な支援につながる無電柱化を推進すること。
・子ども達の安全・安心を守るため、通学路等の交通安全対策を推進・強化と必要な予算を別枠で確保すること。
・危険な踏切の改良や自動運転技術の普及、自転車の利用促進に向けた道路機能の向上を推進すること。

これら項目を踏まえ、道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和4年度道路関係予算は所要額を満額確保すること。

以上、決議する。

令和三年十一月十六日

東北国道協議会

東北国道協議会 役員名簿

役職名	公職・氏名		所属協議会
会長	郡山市長	品川 萬里	福島県中・県南・会津地区 国道協議会
副会長	盛岡市長	谷藤 裕明	岩手地区国道協議会
	大崎市長	伊藤 康志	宮城国道協議会
理事	青森市長	小野寺 晃彦	青森地区国道協議会
	宮古市長	山本 正徳	三陸地区国道協議会
	秋田市長	穂積 志	秋田国道協議会
	酒田市長	丸山 至	山形県庄内地区道路協議会
	福島市長	木幡 浩	福島地区国道協議会
	仙台市長	郡 和子	宮城国道協議会
会計監事	山形市長	佐藤 孝弘	山形地区国道協議会
	いわき市長	内田 浩之	福島県浜通り地区国道協議会

東北国道協議会

【青森地区国道協議会】

会長 青森市長

弘前市長
八戸市長
五所川原市長
十和田市長
むつ市長
平川市長
鱒ヶ沢町長
おいらせ町長
三戸町長
藤崎町長
七戸町長
黒石市長
三沢市長
つがる市長
平内町長
今別町長
外ヶ浜町長
深浦町長
大鰐町長
鶴田町長
中泊町長
野辺地町長
六戸町長
横浜町長
東北町長
大間町長
五戸町長
田子町長
南部町長
階上町長
蓬田村長
田舎館村長
東通村長
風間浦村長
佐井村長
新郷村長
板柳町長
六ヶ所村長

小野寺 晃 彦
櫻田 宏
小林 眞
佐々木 昌
小山田 久
小宮下 一郎
宮長尾 行
平成田 衛
成松田 隆
平尾田 彦
平小又 幸
高樋山 勉
小倉光 憲
倉船橋 紀
中山嶋 昭
山崎田 久
相川 子
濱館 満
野村 伸
吉田 光
石保 雄
長崎 豊
野宮 大
若山本 治
山工藤 文
浜久谷 一
久慈木 美
鈴畑中 直
畑富美 美
冨樋一 雄
櫻井中 朗
成岡 宏
戸田 視
田 洋
誠
衛

【岩手地区国道協議会】

会長 盛岡市長

遠野市長
二戸市長
奥州市長
雫石町長
花巻市長
北上市長
一関市長
八幡平市長
葛巻町長
岩手町長
滝沢市長
紫波町長
矢巾町長
西和賀町長
金ヶ崎町長
平泉町長
軽米町長
九戸村長
一戸町長

谷 多藤小猿上高佐佐鈴佐主熊高細高青山晴田
藤 田原沢子田橋藤木木木濱谷橋井橋木本山中
裕 一 昌恵東敏善孝重光 昌洋由幸賢裕辰
明 彦淳記久一彦仁弘男司了泉造行一保一康也

※三陸地区に重複加入

9市10町1村

【三陸地区国道協議会】

会長 宮古市長

釜石市長
岩泉町長
久慈市長
遠野市長
大船渡市長
陸前高田市長
洋野町長
山田町長
大槌町長
住田町長
野田村長
普代村長
田野畑村長

山 野中遠多戸戸水佐平神小柁佐
本 田居藤田田羽上藤野田田屋木
正 武健讓一公 信信公謙祐伸
徳 則一一彦明太宏逸三一士夫靖

※岩手地区に重複加入

6市5町3村

【宮城国道協議会】

会長 大崎市市長
白石市長
仙台市長
角田市長
蔵王町長
柴田町長
大河原町長
村田町長
七ヶ宿町長
丸森町長
川崎町長
岩沼市長
名取市長
多賀城市長
塩竈市長
亘理町長
山元町長
松島町長
利府町長
石巻市長
東松島市長
女川町長
富谷市長
美里町長
涌谷町長
大和町長
大衡村長
加美町長
色麻町長
栗原市長
登米市長
気仙沼市長
南三陸町長

伊 山郡黒村滝齋大小保小菊山深佐山齋櫻熊齋渥須若相遠浅萩猪早佐熊菅佐
藤 田 須上 沼関科山地田谷藤田藤井谷藤美田生澤藤野原股坂藤谷原藤
康 裕和 英 清克幸郷修啓司晃光周俊公 正 善裕清积 達洋利 盛
志 一子貫人茂志巳一雄作夫郎祐樹伸夫一大美巖明俊一雄元雄文悦智廣茂仁

1 4 市 1 8 町 1 村

【秋田国道協議会】

会長 秋田市市長
能代市長
横手市長
大館市長
男鹿市長
湯沢市長
鹿角市長
由利本荘市長
潟上市市長
大仙市長
北秋田市市長
にかほ市長
仙北市長
小坂町長
上小阿仁村長
藤里町長
三種町長
八峰町長
五城目町長
八郎潟町長
井川町長
大潟村長
美郷町長
羽後町長
東成瀬村長

穂 積 志
齊藤 藤橋 滋 宣
高橋 藤橋 淳 大
福菅 原原 広 嗣
佐 藤 一 夫
関 湊 貴 厚
湊 鈴 雄 信
老 津 博 大
市 田 永 行
細 小 知 光
小 佐 悦 次
佐 田 文 明
田 森 政 滿
渡 畠 新 次
嶋 齋 彦 明
高 齋 菊 幸
松 高 多 郎
安 松 浩 衛
佐 安 知 夫
々 木 哲 人
々 木 己
々 木 豊
々 木 男

1 3 市 9 町 3 村

【山形地区国道協議会】

会長 山形市長

米沢市長
新庄市長
寒河江市長
上山市長
村山市長
長井市長
天童市長
東根市長
尾花沢市長
南陽市長
山辺町長
中山町長
河北町長
西川町長
朝日町長
大江町長
大石田町長
金山町長
最上町長
舟形町長
真室川町長
大蔵村長
鮭川村長
戸沢村長
高畠町長
川西町長
小国町長
白鷹町長
飯豊町長

佐 藤 孝 弘

中山佐横志内山土菅白遠佐森小鈴松村佐高森新加元渡寒河原仁佐後
川尾藤戸布谷本田根岩藤藤谷川木田岡藤橋 田藤木部江田科藤藤
勝紀樹衛夫治治剛雄夫幸晴雄博幸隆弥司美広治美介勝信二一七平
順洋長隆重信正光孝直俊俊一浩清藤英重富隆正洋秀 俊洋誠幸

1 1 市 1 6 町 3 村

【山形県庄内地区道路協議会】

会長 酒田市長

鶴岡市長
庄内町長
三川町長
遊佐町長

丸 山 至

皆富阿時 川 樫部田 博 治透誠機

2 市 3 町

【福島地区国道協議会】

会長 福島市長
二本松市長
国見町長
本宮市長
伊達市長
桑折町長
川俣町長
大玉村長

木 三引高須高藤押
幡 保地松田橋原山
惠 義博宣一利
浩 一真行行博二一

4市3町1村

【福島県中・県南・会津地区国道協議会】

会長 郡山市市長
会津若松市長
白河市長
須賀川市長
喜多方市長
田村市長
南会津町長
会津坂下町長
石川町長
鏡石町長
猪苗代町長
会津美里町長
西郷村長
天栄村長
下郷町長
檜枝岐村長
只見町長
北塩原村長
西会津町長
湯川村長
柳津町長
三島町長
金山町長
昭和村長
泉崎村長
矢吹町長
玉川村長
平田村長
三春町長
小野町長
棚倉町長
矢祭町長
塙町長
鮫川村長
浅川町長
磐梯町長
中島村長
古殿町長

品 室鈴橋遠白大古塩遠前杉高添星星渡遠薄三小矢押舟箭蛭石澤坂村湯佐宮関江佐加岡
川 井木本藤石宅川田藤後山橋田 部藤 澤林澤部木内田森村本上座川田根田藤藤部
萬 照和克忠高宗庄金榮 純廣勝 明勇和友豊 源源幸憲泰春和浩昭一正秀政文淳幸光
里 平夫也一司吉平郎作公一志幸學彦夫夫喜隆功成郎一勝昭男明之正平郎利雄男一一徳

6市21町11村

【福島県浜通り地区国道協議会】

会長 いわき市長

南相馬市長

相馬市長

双葉町長

広野町長

檜葉町長

富岡町長

大熊町長

浪江町長

新地町長

飯舘村長

川内村長

葛尾村長

内

門立伊遠松山吉吉大杉遠篠

田

馬谷澤藤本本田田堀岡藤木

広

和秀史 幸育 数 雄

之

夫清朗智英男淳博武誠幸弘

3市7町3村

【 東 北 国 道 協 議 会 】

青 森 地 区 国 道 協 議 会

岩 手 地 区 国 道 協 議 会

三 陸 地 区 国 道 協 議 会

宮 城 国 道 協 議 会

秋 田 国 道 協 議 会

山 形 地 区 国 道 協 議 会

山 形 県 庄 内 地 区 道 路 協 議 会

福 島 地 区 国 道 協 議 会

福 島 県 中 ・ 県 南 ・ 会 津 地 区 国 道 協 議 会

福 島 県 浜 通 り 地 区 国 道 協 議 会
